

## 葵区諸子沢地内における地すべりについて(第3報)

### 1 これまでの経緯

8月21日(月)10時頃

地元の大川自治会連合会会長より入電

：諸子沢川の濁りが発生している。斜面の崩壊が疑われる。

8月22日(火)14時頃

市職員によるドローン等による現地調査で確認

：葵区諸子沢地内の大久保沢上流部で山腹が崩壊し、大規模な地すべりが発生している(現時点で流出土砂量は不明)。

：土砂が流入した大久保沢(市管理)と、大久保沢が合流する諸子沢川(県・市管理)で濁りが発生している。

：流出した土砂が大久保沢中流域の県設置の治山堰堤まで達している。

8月23日(水)15時30分頃

静岡県中部農林事務所職員から市担当者へ入電

：土砂や流木が、大久保沢と諸子沢川の合流地点に堆積し、市道日向諸子沢線まで流出している(流出量不明)。

8月23日(水)16時45分

：諸子沢川下流部には19世帯の集落があるため、大川小中学校に避難場所を開設。自治会を通じて住民に対して避難を呼びかけている。

：市道日向諸子沢線は、中村橋付近から通行止め措置。通行止めよりも上流部には2世帯の集落があるが、迂回路を利用しての往来は可能

8月23日(水)20時20分

避難場所(大川小中学校)に2世帯5名が避難

：職員が避難場所を訪問し、現地調査の結果を説明

8月24日(木)16時00分

諸子沢川の日陰橋下流付近に監視カメラを設置

## 2 現地調査の状況

(1) 24日(木)6時から、市長ほか、道路、河川、治山部局職員にて現地調査

① 源頭部から目視、ドローンにより調査（6時）

- ・土砂は尾根付近で大規模に落下（土量不明）、これ以上、上部の崩壊は広がらない見込み
- ・中間部の緩傾斜部に水の滞留が認められる
- ・中間部を含め、大規模な土砂移動がある可能性は低い見込み

② 諸子沢川と大久保沢の合流地点から上流を調査（7時）

- ・諸子沢川には大規模な倒木で市道がふさがれている
- ・周辺を泥水が流下し、市道まで達している
- ・市道への堆積はあるものの、泥水は河道（諸子沢川）を流下、時折急な増水がみられる。
- ・上流部の小規模土砂堆積が崩壊し、一時的に増水したものとみられる。

(2) 崩壊地上部（ドローン）調査（27日（日）10時）

- ・源頭部の小規模な拡大崩壊を確認
- ・崩壊した土砂の小規模な移動を確認
- ・中間部の緩傾斜部における水の滞留は消失した

## 3 8月24日（木）8時以降の被害状況

(1) 断水【8月24日（木）14時頃覚知】（8月28日現在も継続中）

- ・諸子沢柿の平水道組合が管理する飲料水供給施設の配管が破断
  - ・4戸が断水中（在宅：2戸、市内別宅に移動：1戸、非住家（寺）：1戸）
- 水が必要な住民の方には、飲料水を配付し対応（継続中）

## 4 今後の見込み

(1) 天気予報（気象庁ホームページ）

- ・28日（月） 晴れ 夕方から曇り 所により夕方から夜のはじめ頃雨で雷を伴い激しく降る
- ・29日（火） 晴れ 朝晩 曇り

(2) 河川の状況

- ・崩壊した土砂の流出は継続しており、諸子沢川の大久保沢合流部の上部に小規模な流水の滞留が見られるが、現在のところ大規模な天然ダムは形成されていない。
- ・現地の状況から強雨が発生しない限り、大規模な土石流が発生し下流に到達する可能性は低い
- ・水の滞留部が部分崩落し、河川が一時的に増水する可能性はある
- ・諸子沢川のカメラ監視は継続中であり、異常な水位上昇は確認されていない

### （3）断水への対応（飲料水供給施設）

- ・ 25日（金）現場及び上流の土砂及び水の状況を踏まえ、8月28日（月）以降に仮復旧予定  
本復旧については調整中
- ・ 28日（月）14時過ぎに諸子沢柿の平水道組合、市職員及び工事業者が、復旧に向けた現場  
調査を実施予定。  
水が必要な住民の方には、飲料水を配付。（継続中）

## 5 避難者への対応

- ・ 24日（木）8時 1世帯2名が避難
- ・ 今後の雨の見込みから、増水により家屋に危険が及ぶ可能性は低いので、24日（木）10時  
をもって避難の呼びかけは解除する。ただし状況変化により、避難を呼びかける可能性はある。
- ・ 24日（木）12時30分時点で2世帯5名が避難（一旦帰宅した避難者が不安であると再び  
避難されてきた）
- ・ 24日（木）14時に1世帯2人が帰宅
- ・ 消防が避難場所（大川小中学校）を訪問し、避難者の健康状態を確認
- ・ 25日（金）6時30分に1世帯3人が帰宅。同時刻をもって避難場所を閉鎖
- ・ 今後、天候が悪化した場合は、消防隊1隊を日向の消防団器具置き場に待機させ対応
- ・ 27日（日）19時15分に1世帯2人が大川小中学校へ避難（28日（月）5時30分帰宅）
- ・ 28日（月）午後以降順次21世帯の住民の健康状況を把握するとともに、災害対応長期化に  
備えた一時転居希望の聞き取りを実施予定

## 6 今後の調査

### （1）監視体制

- ・ 8月24日（木）16時に諸子沢川日陰橋下流付近に監視カメラを設置し、河川の常時監視を  
開始。25日（金）以降は、当面、日中は職員が現地で目視により監視し、夜間は監視カメラに  
よる遠方監視で対応する。
- ・ 土石流センサーに関しては、8月28日（月）に設置予定。
- ・ 異常が見られた場合には、速やかに避難を呼びかける。
- ・ 引き続きドローンにより毎日、監視を行う。

### （2）県との連携

- ・ 県が有人航空機による3次元測量を実施予定。崩壊土量についてより詳細に検討する。
- ・ 25日（金）、県が現地調査に着手。

### （3）交通困難者への対応

- ・ 市道の復旧には時間を要するため、生活に支障をきたす上流部の世帯については、私道（作業  
道）を迂回路として確保させていただくことで所有者と調整し、25日（金）に現地調査を完了。

- ・現地調査を踏まえ、通行がより容易となるよう、1週間を目途に修繕作業を完了させる予定。

## 7 今後の対応

地すべりが発生した溪流内が不安定であり、必要な調査等に際し、二次災害の発生の恐れがあるため、今後の対応が長期化すると考えられる。

### (1) 対策検討委員会の設置について

抜本的な対策に取り組んでいく必要があるため、県と連携した対策検討委員会を設置する予定

### (2) 仮復旧

- ・大久保沢と諸子沢川合流部付近の市道に堆積した流木及び土砂の撤去については、現状は作業の安全性が不明であるため、県等と安全性を協議し作業開始時期を決定する。
- ・諸子沢川に近接する5軒のうち、特に河川に接している2軒については、流入防止を目的とした護岸のかさ上げを県にて実施。8月31日（木）に完成予定

### 担当

治山林道課 354-2163(山林の崩壊に関すること)

河川課 221-1087(河川に関すること)

葵南道路整備課221-1486(市道に関すること)、

保健衛生医療課221-1339(断水に関すること)

健康づくり推進課221-1571(健康観察に関すること)

葵区役所地域総務課 221-1343(避難に関すること)

住宅政策課221-1192(一時転居に関すること)

危機管理総室 221-1012 (全体とりまとめ)